

【表紙】

【提出書類】	訂正有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	平成28年5月27日提出
【発行者名】	三井住友アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 横山 邦男
【本店の所在の場所】	東京都港区愛宕二丁目5番1号
【事務連絡者氏名】	土田 雅央
【電話番号】	03-5405-0740
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券に係るファンドの名称】	日興メキシコ債券ファンド（資産成長型） 平成28年5月27日付で 「メキシコ債券ファンド（資産成長型）」に ファンド名称が変更されます。
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券の金額】	継続募集額(平成28年5月27日から平成29年5月25日まで) 1兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

平成28年5月26日付をもって提出しました「日興メキシコ債券ファンド（資産成長型）」の有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）について、平成28年5月27日付でファンド名称を「メキシコ債券ファンド（資産成長型）」に変更するため、その他訂正すべき事項がありますので、本訂正届出書により訂正を行うものです。

2【訂正の内容】

<訂正前>および<訂正後>に記載している下線部_____は訂正部分を示し、<更新後>に記載している内容は原届出書が更新されます。また、原届出書の「第二部 ファンド情報」の「第1ファンドの状況 5 運用状況」および「第3ファンドの経理状況」の冒頭に、ファンド名称変更に関する記載事項が追加されます。

第一部【証券情報】

(1)【ファンドの名称】

<訂正前>

日興メキシコ債券ファンド(資産成長型)

(愛称として「ラ・バンバ」という名称を用いることがあります。)

以下「当ファンド」ということがあります。また、「資産成長型」と略称することがあります。

<訂正後>

メキシコ債券ファンド(資産成長型)

(愛称として「ラ・バンバ」という名称を用いることがあります。)

以下「当ファンド」ということがあります。また、「資産成長型」と略称することがあります。

平成28年5月27日付で、ファンドの名称が「日興メキシコ債券ファンド(資産成長型)」から変更されています。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

(2)【ファンドの沿革】

<訂正前>

平成25年3月8日 信託契約締結、設定、運用開始。

<訂正後>

平成25年3月8日 信託契約締結、設定、運用開始。

平成28年5月27日 「日興メキシコ債券ファンド（資産成長型）」から「メキシコ債券ファンド（資産成長型）」に名称を変更。

2【投資方針】

(1)【投資方針】

<更新後>

「(1)投資方針」には、当ファンドと実質的な投資対象資産（メキシコの債券等）が同じで、決算頻度が異なるファンドの情報を合わせて説明している部分があります。

イ 基本方針

当ファンドは、投資信託への投資を通じて、主としてメキシコの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。

ロ 投資態度

(イ) 主として、メキシコの債券等を主要投資対象とするメキシコ・ボンド・ファンド（アキュムレーションクラス）およびマネー・オープン・マザーファンドへの投資を通じて、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。

(ロ) メキシコ・ボンド・ファンド（アキュムレーションクラス）への投資を通じて、メキシコの債券等に投資します。

・メキシコの債券とは、国債、政府機関債、地方債、社債、国際機関債等です。

・主として、メキシコペソ建ての債券に投資を行います。

・社債は、メキシコの企業およびその子会社や関連会社等が発行する債券とします。

・原則として対円で為替ヘッジを行いません。

メキシコ・ボンド・ファンド（アキュムレーションクラス）については、継続的にモニタリングを行い必要な場合は入替も行います。

(ハ) マネー・オープン・マザーファンドを通じて、主として円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。

(ニ) 原則として、メキシコ・ボンド・ファンド（アキュムレーションクラス）の投資比率は高位に保ちます。

(ホ) 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

(へ) 主要投資対象とする投資信託は、下記の通りとします。

a. メキシコ・ボンド・ファンド（アキュムレーションクラス）

投資顧問会社	シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッド
副投資顧問会社	アクシオネス・イ・バローレス・バナメックス (Acciones y Valores Banamex S.A. de C.V., Casa de Bolsa)
主要運用対象	メキシコの債券等
運用の基本方針	主として、メキシコの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。メキシコペソ建て以外の債券等に投資する場合は、実質的にメキシコペソ建てとなるよう為替取引を行います。また、外貨建資産については、対円での為替ヘッジは行いません。

b. マネー・オープン・マザーファンド

運用会社	三井住友アセットマネジメント株式会社
主要運用対象	円貨建ての短期公社債および短期金融商品
運用の基本方針	安定した収益の確保を目指します。

上記ファンドの詳細に関しましては、後述の〔参考情報：投資対象とする投資信託の概要〕をご覧ください。

ファンドの特色



1

主として、メキシコの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。

- メキシコの債券とは、国債、政府機関債、地方債、社債、国際機関債等です。
- 主として、メキシコペソ建ての債券に投資を行います。
- 社債は、メキシコの企業およびその子会社や関連会社等が発行する債券とします。
- ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。
- 原則として対円での為替ヘッジは行いません。

2

「毎月分配型」と「資産成長型」の2つのコースがあり、コース間のスイッチングが可能です。

- 「毎月分配型」は毎月（原則26日、休業日の場合は翌営業日）、「資産成長型」は年1回（原則2月26日、休業日の場合は翌営業日）決算を行います。
- 分配金額は分配方針に基づき委託会社が決定します。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- 販売会社によっては、スイッチングが行えない場合があります。また、いずれか一方のファンドのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

3

実質的な運用は、現地の債券運用に強みを持つアクシオネス・イ・バローレス・バナメックス（以下、「バナメックス」といいます。）が行います。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

ファンドのしくみ

■ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。



※スイッチングとは、保有しているファンドの換金による手取額をもって、他のファンドを買い付けることをいいます。

※「メキシコ・ボンド・ファンド」の各クラスの組入比率を原則として高位に保ちます。したがって、ファンドの実質的な主要投資対象は、メキシコの債券等となります。

分配金について

■「毎月分配型」は、原則として、毎月26日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づき分配を行います。

■「資産成長型」は、原則として、毎年2月26日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づき分配金額を決定します。

▶ 収益分配のイメージ

	1月 決算	2月 決算	3月 決算	4月 決算	5月 決算	6月 決算	7月 決算	8月 決算	9月 決算	10月 決算	11月 決算	12月 決算
毎月分配型	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥
資産成長型		¥										

※上の図は収益分配のイメージを示したものであり、毎期の収益分配を約束するものではありません。また「資産成長型」については、分配頻度が「毎月分配型」に比べて少ないことから、運用の複利効果が期待できませんが、運用成績が悪化した場合などは、複利効果によって、その分資産がより減少します。

※分配金額は委託会社が収益分配方針に基づき、基準価額水準、市況動向等を考慮して決定します。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※後掲、「収益分配金に関する留意事項」もご参照ください。

メキシコ経済の魅力

- メキシコ経済の魅力は、「地の利」と「競争力のある労働力」です。
- メキシコは、巨大市場の北米と有望市場の南米に挟まれた「地の利」と、若く賃金が安いといった「競争力のある労働力」により、製造・輸出拠点としての魅力が高まっています。

[地の利]



(注)データは2014年。
(出所)JETRO

[競争力のある労働力]



(注1)データは2016年3月時点公表値。
(注2)賃金は、主要都市のワーカー(製造業の一般工職)の月額基本給。
(注3)年齢は中央値。
(出所)JETRO, CIA

メキシコについて

- メキシコは、世界第15位の経済規模(IMF2015年世界名目GDPランキング)を有しています。
- メキシコは、1994年にOECDに加盟し、G20にも参加するなど世界の大国の仲間入りを果たしています。



<基本データ>

国名	メキシコ合衆国
人口	1億2,702万人
経済規模(GDP)	1兆1,443億米ドル
1人当たりGDP	9,009米ドル
経済成長率	2.6%
言語	スペイン語



(注1)人口、経済規模(GDP)、一人当たりGDPのデータは2015年。

(注2)経済成長率は、2016年から2018年のIMF予想の平均。
(出所)IMF等

※グラフ・データは、参考情報として記載した過去の実績および将来の予想であり、ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

メキシコの債券市場の魅力

▶ 魅力 ① 相対的に高い利回り水準

[主な国の債券利回り比較]



■メキシコ債券は、主要な先進国と比べて高い利回りとなっています。

(注1) データは2016年3月末時点。国債は5年債、メキシコ社債はFTSE-PIP CORP FIX3-7の利回りを使用。いずれも現地通貨ベース。

(注2) 格付けはS&P長期自国通貨建て格付け。

(出所) パナメックス、Bloomberg

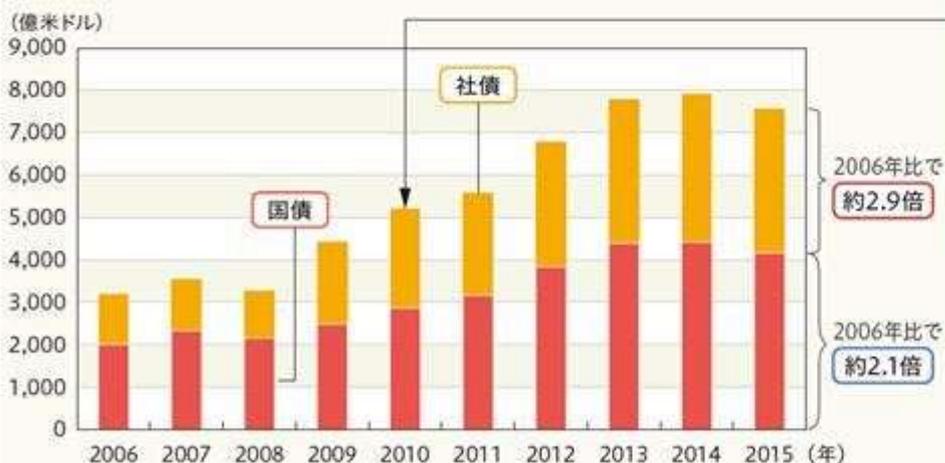
格付け	AAA	A+	AA+	AA-	A	-	BB
-----	-----	----	-----	-----	---	---	----

▶ 魅力 ② 成長するメキシコ債券市場

■メキシコ債券市場は大きく拡大しており、全体で約7,500億米ドル(約90兆円*)となっています。

■シティ世界国債インデックス(WGBI)に採用されており、今後もWGBIをベンチマークとする投資家等による資金流入等が期待されます。

[債券市場残高の推移]



●2010年10月、メキシコ国債が、中南米で初めてWGBIに採用。
●採用に当たっては、以下の厳しい3つの要件を満たすことが求められるため、ブラジル等に先駆けてメキシコが選ばれました。

- ①市場規模
- ②信用格付け
- ③市場への参入障壁がないこと



WGBIとは
●WGBIは、世界の投資家の国債投資ベンチマークで、Citigroup Index LLCが算出・公表する債券インデックスです。
●世界主要国の国債の価格と利息収入を合わせた総合投資収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。
●日本でも、年金基金や投資信託等の運用に参照されています。

*2015年9月末時点の為替レート(1米ドル=119.67円)で換算。
(注) データは2006年~2014年の各年末、および2015年9月末。
(出所) BIS, Bloomberg

※グラフ・データは、参考情報として記載した過去の実績であり、ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

為替について

〔円／メキシコペソの推移〕



※グラフ・データは、参考情報として記載した上記指数等の過去の実績であり、ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

投資対象とする外国投資信託の運用会社について

〔シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント〕

- ファンドの主要投資対象である外国投資信託の投資顧問会社です。
- 外国投資信託の管理およびモニタリング等を行います。



- シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッドは、シティグループ・インク傘下の投資運用会社です。
- 運用資産残高は、約27.4億米ドル（約3,080億円）です。

(注1)データは2016年3月末時点。

(注2)運用資産残高は、2016年3月末時点の為替レート(1米ドル=112.50円)で換算。

(出所)シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント、Bloomberg

Citi and Arc Design、シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッドおよびシティグループ・インクは、世界中で使用・登録されているシティグループ・インクまたはその関連会社の登録商標またはサービスマークであり、三井住友アセットマネジメント株式会社が利用許諾に基づき使用しています。

〔 バナメックス 〕

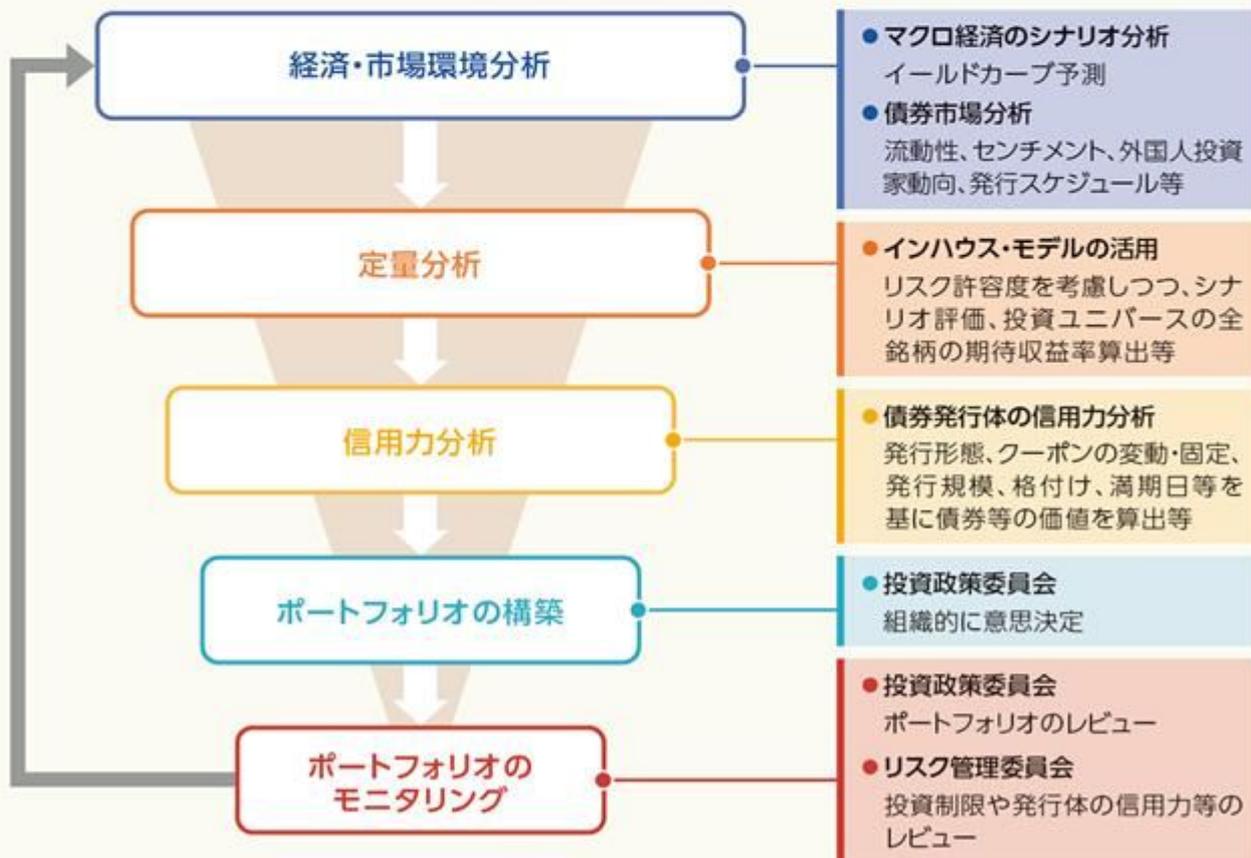


契約数	約31万件
運用資産残高	約286億米ドル(約3.2兆円*)
資産運用チーム	26名(うち債券運用11名)
メキシコ債券の運用実績	12年以上
債券の運用資産残高	約187億米ドル(約2.1兆円*)

*1米ドル=112.50円で換算

- ファンドの主要投資対象である外国投資信託の副投資顧問会社です。
- メキシコ債券の運用を実質的に担当します。
- バナメックスの親会社(グルポ・フィナンシエロ・バナメックス)は、傘下にバナメックス銀行を持ち、国内に1,490以上の支店、約3万人の従業員を有するメキシコ最大級の金融グループです。2001年に米シティグループ傘下に入り、グローバルな金融サービスを提供しています。

〔 債券運用プロセス 〕



(注)データは2016年3月末時点。
(出所)バナメックス、Bloomberg

3【投資リスク】

<更新後>

イ ファンドのもつリスクの特性

当ファンドは、投資信託を組み入れることにより運用を行います。当ファンドが組み入れる投資

信託は、主として海外の債券を投資対象としており、その価格は、保有する債券の値動き、当該発行者の経営・財務状況の変化、為替相場の変動等の影響により上下します。当ファンドが組み入れる投資信託の価格の変動により、当ファンドの基準価額も上下します。基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

運用の結果としてファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。したがって、当ファンドは預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものでもありません。また、当ファンドは、預貯金や保険契約と異なり、預金保険、貯金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関は、投資者保護基金には加入しておりません。

当ファンドが有するリスク等(他の投資信託の組入れを通じた実質的なリスク等となります。)のうち主要なものは、以下の通りです。

(イ) 債券市場リスク

内外の政治、経済、社会情勢等の影響により債券相場が下落(金利が上昇)した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、ファンドが保有する個々の債券については、下記「信用リスク」を負うことにもなります。

(ロ) 信用リスク

ファンドが投資している有価証券や金融商品に債務不履行が発生あるいは懸念される場合に、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。有価証券等の格付けが低い場合は、格付けの高い場合に比べてこうしたリスクがより高いものになると想定されます。

(ハ) 為替変動リスク

外貨建資産への投資は、円建資産に投資する場合の通常のリスクのほか、為替変動による影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落(円高)する場合、円ベースでの評価額は下落することがあります。為替の変動(円高)は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

(ニ) カントリーリスク

海外に投資を行う場合には、投資する有価証券の発行者に起因するリスクのほか、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化や混乱などによって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

特に投資先が新興国の場合、その証券市場は先進国の証券市場に比べ、より運用上の制約が大きいことが想定されます。また、先進国に比べ、一般に市場規模が小さいため、有価証券の需給変動の影響を受けやすく、価格形成が偏ったり、変動性が大きくなる傾向が考えられます。

(ホ) 市場流動性リスク

ファンドの資金流出入に伴い、有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、必要な取引ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

(ヘ) 換金制限等に関する留意点

投資資産の市場流動性が低下することにより投資資産の取引等が困難となった場合は、ファンドの換金申込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた換金申込みを取り消すことがあります。

(ト) 収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

ロ 投資リスクの管理体制

リスク管理の実効性を高め、また、コンプライアンスの徹底を図るために、運用部門から独立した組織（リスク管理部および法務コンプライアンス部）を設置し、ファンドの投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況にかかる確認等を行っています。リスク管理部では、主に投資信託約款・社内ルール等において定める各種投資制限・リスク指標のモニタリングを行います。また、法務コンプライアンス部では、主に法令・諸規則等の遵守状況についての確認等を行います。投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況等にかかる確認結果等については、運用評価委員会、リスク管理委員会およびコンプライアンス委員会への報告が義務づけられています。

（参考情報）投資リスクの定量的比較

平成28年5月27日付で、「日興メキシコ債券ファンド（資産成長型）」のファンド名称が「メキシコ債券ファンド（資産成長型）」に、変更されています。以下の情報は、当該名称変更前のデータを記載しています。

■日興メキシコ債券ファンド（資産成長型）



※左グラフは2011年4月～2016年3月の各月末におけるファンドの直近1年間の騰落率および分配金再投資基準価額の推移を表示したものです。右グラフは同期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

※ファンドの設定日が2013年3月8日のため、左グラフの分配金再投資基準価額は2013年3月末以降のデータを、左右グラフのファンドの騰落率については各月末の直近1年間の騰落率であるため、ファンド設定1年後の2014年3月末以降のデータを表示しています。

※ファンドの分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものと仮定して計算しており、実際の基準価額とは異なります。分配実績がない場合は、分配金再投資基準価額は基準価額と同じです。

※ファンドの騰落率は、分配金再投資基準価額をもとに計算しており、実際の基準価額をもとに計算したものと異なります。

※右グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

<各資産クラスの指数>

日本株…TOPIX(配当込み)

先進国株…MSCIコクサイインデックス(グロス配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI(国債)

先進国債…シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしております。

「TOPIX(配当込み)」は、株式会社東京証券取引所が算出、公表する指数で、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象としています。

「MSCIコクサイインデックス(グロス配当込み、円ベース)」は、MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。

「MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース)」は、MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。

「NOMURA-BPI(国債)」は、野村證券株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。

「シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)」は、Citigroup Index LLCが開発した指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。

「JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)」は、J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

5【運用状況】

<追加> 「運用状況」の冒頭に以下の文言が追加されます。

平成28年5月27日付で、「日興メキシコ債券ファンド（資産成長型）」のファンド名称が「メキシコ債券ファンド（資産成長型）」に、変更されています。以下の情報は、当該名称変更前のデータを記載しています。

第3【ファンドの経理状況】

<追加> 「ファンドの経理状況」の冒頭に以下の文言が追加されます。

平成28年5月27日付で、「日興メキシコ債券ファンド（資産成長型）」のファンド名称が「メキシコ債券ファンド（資産成長型）」に、変更されています。以下の情報は、当該名称変更前のデータを記載しています。